

フリガナ

氏 名 様

説明担当者名：

生年月日

説明日 _____年 _____月 _____日

〈 造影検査を受ける方へ 〉

あなたは、担当医師により造影による検査が必要と判断されました。以下に造影に関する概要をご説明いたします。『造影剤の必要性』と『合併症の可能性』をご考慮のうえ、造影剤の投与にご同意頂ける方は、別紙の造影検査同意書にご署名下さい。もちろん検査の途中で造影剤を使用する必要がないことが判明した場合、造影剤は使用しません。また、造影検査同意書にご署名いただいた後でも、いつでも同意を撤回することができます。

1. 造影剤について

造影剤とは、血管に注射して、いろいろな臓器を見やすくする検査のお薬です。腫瘍などの病巣を見つけやすくなったり、病気の性質が判定できます。当院では水溶性ヨード造影剤を使用しており、健康な方では12時間以内に腎臓から尿中に排泄されます。

2. 造影剤の副作用・合併症について

造影剤副作用には、注入直後から数分以内に生じる即時型と、数時間～数日以内に発生する遅発型があります。全体の3%に何らかの副作用の出現が報告されていますが、多くのものは熱感、かゆみやじんま疹、嘔気といった軽度のもので治療を必要としません。まれに冷汗、血圧低下、呼吸困難、ショックなどの重篤な副作用も出現しますが、その頻度は0.1～0.01%です。また極めてまれに（25万～30万人に1人）重篤なショックにより死亡する報告もあります。重篤な副作用の場合は、後遺症の残る可能性もあり、入院での治療を必要とすることがあります。

3. 緊急時の対応について

上記の副作用や合併症が生じた場合の対応については、医師や看護師が適宜対応させていただきます。また、検査室には対応に必要な医薬品や救急用の設備も用意してあります。副作用の症状によっては入院が必要となることもあります。

4. 検査前に教えていただきたいこと

現在のところ、上記の副作用の発現について予測する確実な方法はありません。ただし副作用発現の危険因子として造影剤副作用歴、アレルギー歴（特に喘息）、心疾患、腎臓機能低下などがあげられています。これらに該当する方あるいは当日の体調の悪い方は検査室でお申し出下さい。検討の上、医師が造影剤使用の可否を決めさせていただきます。

5. 検査後の生活について

造影検査終了後は、いつもより多目の水分摂取を心がけて下さい。食事に関しては、通常通りの食事をされて結構です。

前述2で説明した『遅発型副作用』として、発疹やかゆみなどが出現することがあります。これらの症状が出現した場合は、当院までご連絡下さい。その際は、『いつ、何科で、どこの造影検査を受けた』とお伝えいただき、お手元にID番号がわかるものをご用意下さい。場合によっては診察が必要な場合があります。

この『説明書』はご本人が保管して下さい。

別紙の『造影剤同意書は』必要事項をご記入の上、当院検査担当者へお渡し下さい。なお、検査当日に体調の悪い方は、放射線科スタッフへお申し出下さい。